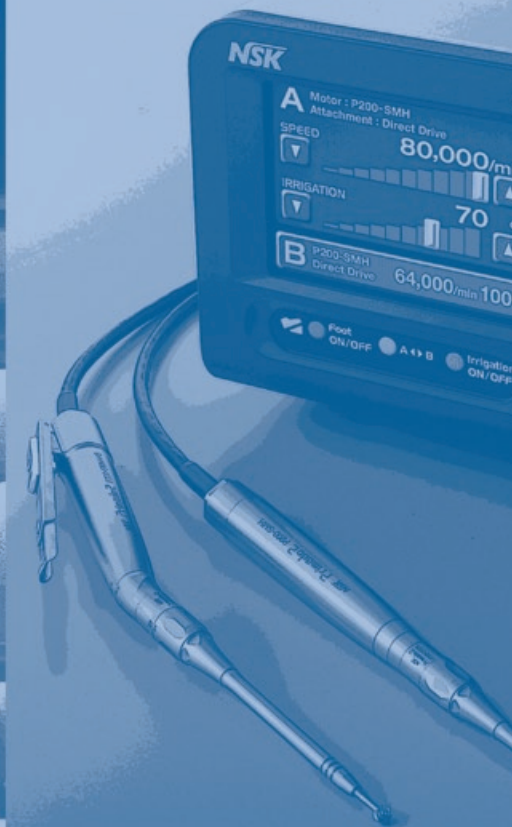
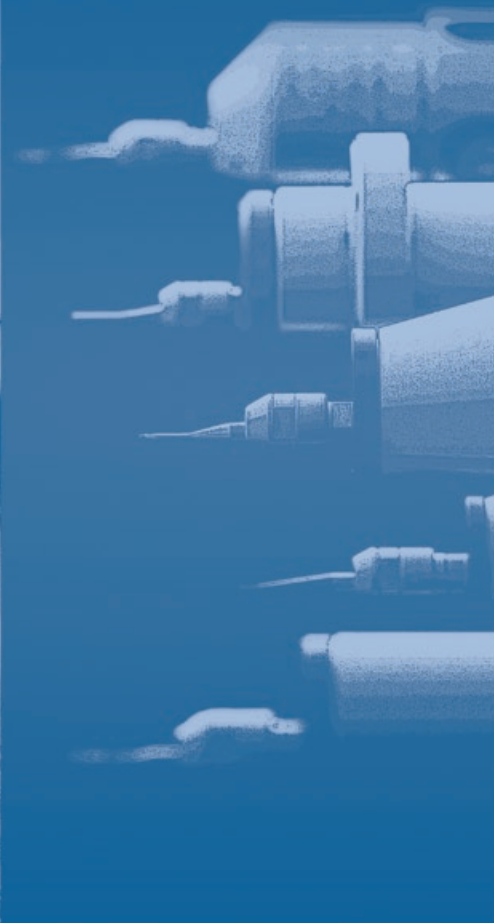
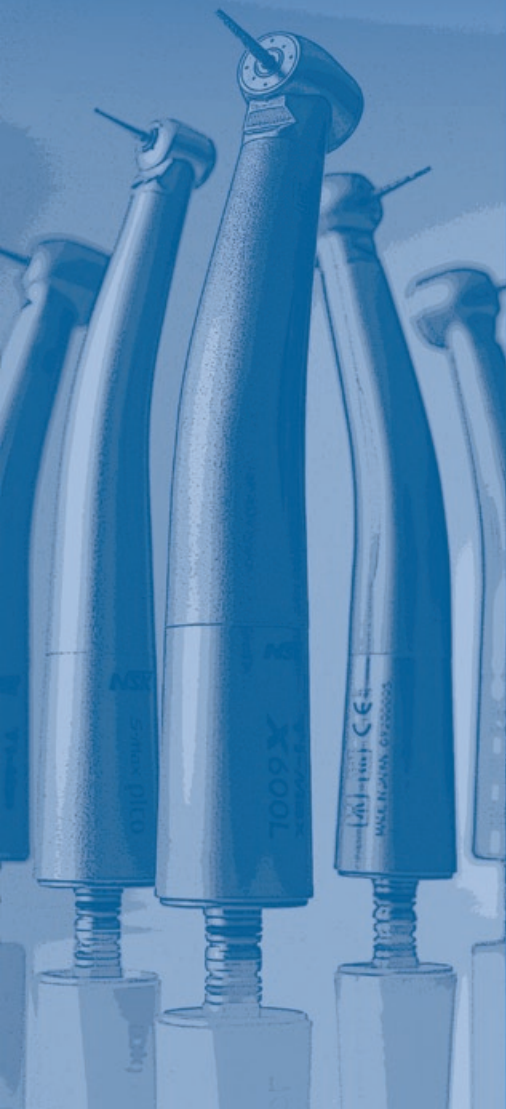


# NSK BUSINESS REPORT

JASDAQ  
証券コード：7716



株式会社 **ナカニシ**

ビジネスレポート 第62期第2四半期

平成25年1月1日～平成25年6月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは平成25年6月30日をもって、第62期（平成25年1月1日から平成25年12月31日まで）の第2四半期が終了いたしましたので、ここに業績概要につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による景気対策の期待感などから円高及びデフレからの脱却の兆しが見られましたが、欧州の債務危機、領土問題に端を発した近隣諸国との関係は依然として厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、北米における販売網再構築の効果が徐々に出てきたこと、経済環境の厳しい欧州が比較的堅調に推移したことに加え、高い海外売上比率から円安の恩恵を受けました。一方、前年の工業製品関連事業における大幅な売上増をもたらした特需は終了しました。この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、12,578,104千円（前年同期比5.3%増）、営業利益は、3,733,797千円（前年同期比3.0%減）、経常利益は、



代表取締役社長

中西 英一

3,984,396千円（前年同期比1.1%減）、四半期純利益は、2,314,887千円（前年同期比5.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

### 【歯科製品関連事業】

当社グループの主要市場である欧州の売上は堅調に推移し、北米におきましては販売網再構築の効果が徐々に現れ始めました。この結果、売上高は、10,920,160千円（前年同期比17.2%増）、セグメント利益は、4,625,521千円（前年同期比15.5%増）となりました。

### 【工業製品関連事業】

前第2四半期連結累計期間におきまして、売上に大きく貢献いたしましたスマートフォン等の部品加工用として機械装着用スピンドルの売上は平常に戻りました。この結果、売上高は、1,252,472千円（前年同期比44.3%減）、セグメント利益は、424,220千円（前年同期比54.6%減）となりました。

### 【その他事業】

修理等サービスにおきまして、売上高は、405,472千円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は、75,322千円（前年同期比27.1%減）となりました。

## ■ 企業理念

堅牢、優美、廉価なものづくりを通じて、人類の健康と

● 連結業績 (単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月 1日 至 平成25年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月 1日 至 平成24年6月30日)	前 期 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年12月31日)
売 上 高	12,578	11,946	22,583
経 常 利 益	3,984	4,026	7,036
四半期(当期)純利益	2,314	2,450	4,340

● 事業別売上高 (単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月 1日 至 平成25年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月 1日 至 平成24年6月30日)	前 期 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年12月31日)
歯科製品関連事業	10,920	9,318	18,458
工業製品関連事業	1,252	2,246	3,373
そ の 他 事 業	405	381	750
合 計	12,578	11,946	22,583

● 地域別売上高 (単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月 1日 至 平成25年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月 1日 至 平成24年6月30日)	前 期 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年12月31日)
国 内	2,690	2,862	5,555
北 米	2,504	1,798	3,578
ア ジ ア	1,541	2,548	3,989
ヨ ー ロ ッ パ	3,859	2,901	5,945
そ の 他	1,984	1,837	3,514
合 計	12,578	11,946	22,583

より良い社会を実現し、全世界の人々との友好を広げる。

# 事業セグメント別重点戦略

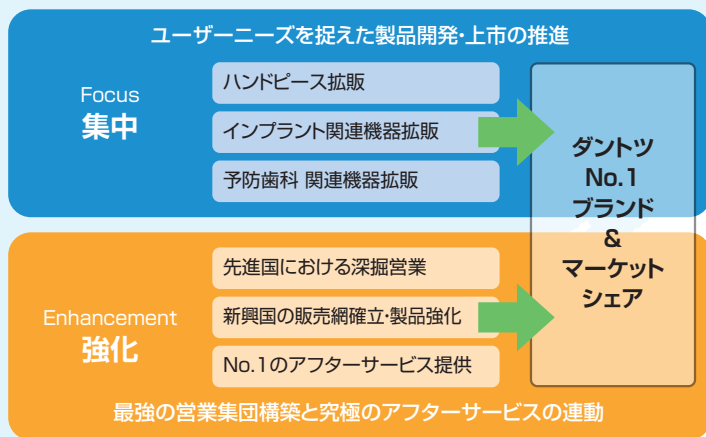
## DENTAL

### ▲「ダントツNo.1ブランド&マーケットシェア」への基本戦略

主軸の「ハンドピース」、成長する「インプラント関連機器」及び「予防歯科関連機器」という3つの製品カテゴリーにフォーカスします。そして、歯科医の先生方に感動を与えるダントツNo.1スペックの新製品を開発し、販売促進を強力に推進して参ります。

世界初の45°コントラ『Z45L』、歯周ポケットのバイオフィルムを除去できる『ペリオメイト』など、革新的な製品を上市しました。さらにオートクレーブ（滅菌器）メーカー“Dental X”社を買収し、ラインナップの充実も進めております。当社ラインナップに滅菌器が加わることにより、ハンドピースのメンテナンス・サイクルを一貫してカバーできる体制ができました。

引き続き各国においてダントツNo.1アフターサービスを実現し、ユーザとの関係強化を推進します。これらの活動を通してダントツNo.1ブランドを実現して参ります。



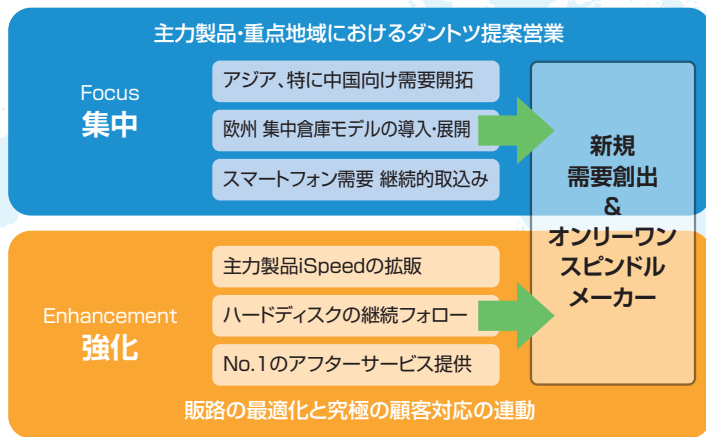
## INDUSTRIAL

### ▲「オンリーワンスピンドルメーカー」への基本戦略

第二の柱である機工ビジネスにおいて、超高速・小径スピンドルを様々な産業の超精密微細加工分野で展開して参ります。例えば、ハードディスクドライブ、スマートフォン等の様々な微細部品の精密加工です。

市場ではものづくり拠点として重要性が増すアジア、特に中国を中心に微細加工技術を活かした加工方法を提案することで需要開拓を進めています。昨年、急増したスマートフォン加工のスピンドル需要の反動で前年同期比大幅減となっておりますが、これは織り込み済みでほぼ計画通り事業は推移しております。欧州商流変更と合わせた販促強化を含め、積極的に拡販を進めます。

当社直接の顧客である加工機メーカーとの関係を強化し、アフターサービス網を充実させることでユーザからの信頼を深化させます。そして、オンリーワンの超高速・小径スピンドルメーカーとしての地位を確立して参ります。



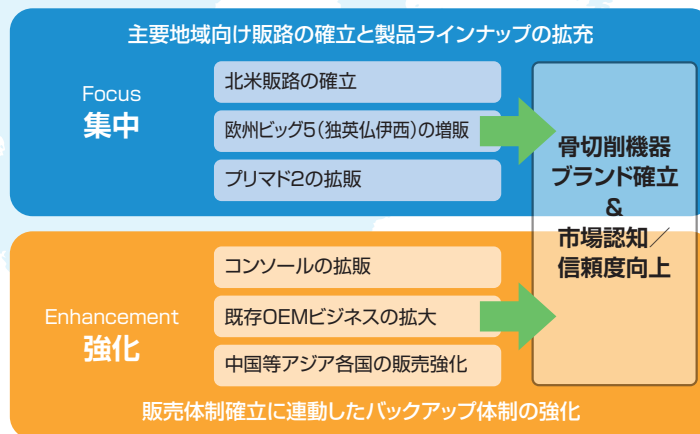
## MEDICAL

### ▲「骨切削機器のブランド確立」に向けた基本戦略

第三の柱であるメディカルビジネスにおいて、昨年上市された第二世代の骨切削回転機『Primado2』の拡販を強力に推進して参ります。またさらなる製品投入へ向けて開発を加速化します。

また、市場では継続的にハンズオンセミナーやKOL（キーオピニオンリーダー）との関係強化を進め、市場におけるプレゼンスを高めています。並行して、現在進めているヨーロッパ主要国、アメリカ、アジアそして中近東地域における販売網確立も進んで参りました。OEM顧客との関係もよく、ビジネスは伸長しています。これらの複合的な効果から当該事業は引き続き前年同期比2桁の高成長を維持しております。

当社のコア技術を駆使した抜群の切削性、操作性、安全性を活かし、さらなる外科医の先生方の信頼を得て、メディカル分野における一層のブランド力アップを実現して参ります。



## NEW PRODUCTS

世界初！45°コントラ

### Ti-Max Z45L

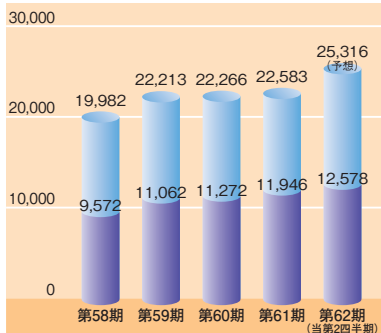
Ti-Max Z45Lは従来型のハンドピースでは届きにくかった臼歯部に対しスムーズにアクセスできる世界初の45°ヘッドのコントラアングルです。一般切削はもちろん埋伏智歯の切断除去にも威力を発揮します。特に、国内、アメリカにおいて非常に高い評価を得て、販売後、予想以上の売上をあげております。また、世界初の製品を出すことにより、ブランドイメージの向上にも一役かかっております。



# 連結財務ハイライト

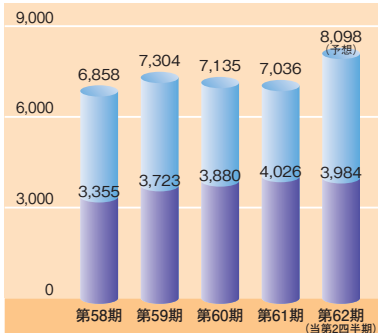
## ●売上高

(単位: 百万円)

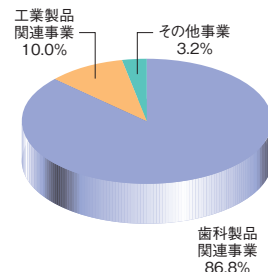


## ●経常利益

(単位: 百万円)

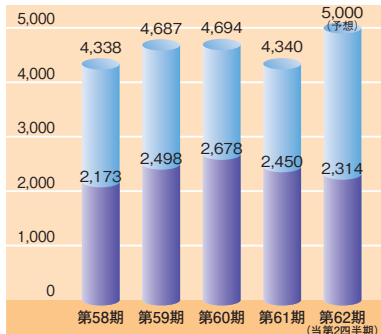


## ●事業の種類別売上高比率



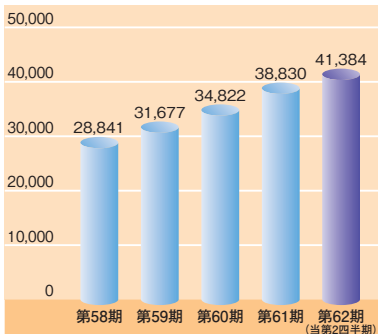
## ●四半期(当期)純利益

(単位: 百万円)

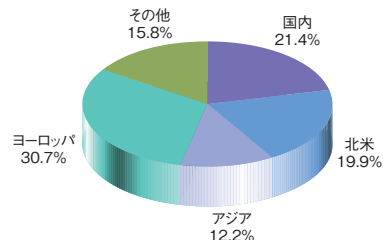


## ●純資産

(単位: 百万円)

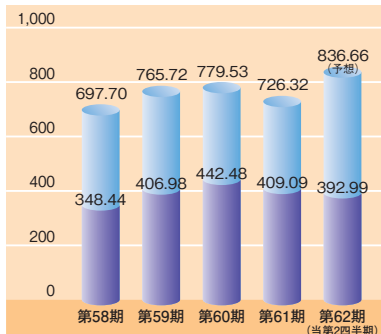


## ●地域別売上高比率



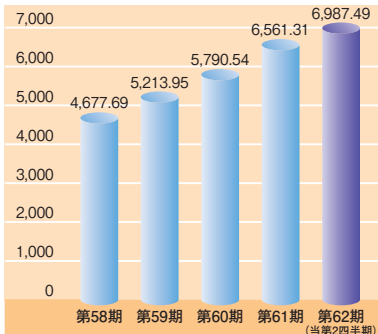
## ●1株当たりの四半期(当期)純利益

(単位: 円)



## ●1株当たりの純資産

(単位: 円)



■ 通期  
■ 第2四半期

# 連結決算の状況

## 第2四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 (平成25年6月30日現在)	前 期 末 (平成24年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>31,757,253</b>	<b>29,940,205</b>
現金及び預金	14,872,166	14,977,151
受取手形及び売掛金	3,935,645	3,192,196
有価証券	1,921,125	1,663,841
金銭の信託	2,770,901	2,612,294
商品及び製品	2,766,925	2,642,943
仕掛品	1,649,243	1,940,276
原材料及び貯蔵品	1,712,908	1,704,108
繰延税金資産	742,042	598,248
その他	1,439,637	658,522
貸倒引当金	△53,340	△49,376
<b>固定資産</b>	<b>14,555,637</b>	<b>12,929,419</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,854,964</b>	<b>4,601,006</b>
建物及び構築物	4,585,575	4,464,863
機械装置及び運搬具	2,731,510	2,626,359
工具、器具及び備品	2,402,973	2,286,700
土地	1,348,504	1,274,908
建設仮勘定	226,333	72,516
減価償却累計額	△6,439,934	△6,124,342
<b>無形固定資産</b>	<b>305,779</b>	<b>331,453</b>
ソフトウェア	283,688	266,964
ソフトウェア仮勘定	—	36,520
のれん	17,841	22,301
その他	4,249	5,667
<b>投資その他の資産</b>	<b>9,394,893</b>	<b>7,996,960</b>
投資有価証券	6,548,317	4,844,337
関係会社株式	160,462	403,877
保険積立金	2,042,519	2,035,778
繰延税金資産	407,677	307,919
その他	388,010	407,141
貸倒引当金	△152,094	△2,094
<b>資産合計</b>	<b>46,312,891</b>	<b>42,869,624</b>

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 (平成25年6月30日現在)	前 期 末 (平成24年12月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,520,986</b>	<b>3,622,758</b>
買掛金	592,280	362,755
短期借入金	102,179	104,361
未払法人税等	1,325,607	1,248,359
その他	2,500,919	1,907,281
<b>固定負債</b>	<b>407,223</b>	<b>416,544</b>
長期借入金	6,638	—
繰延税金負債	50,872	44,675
退職給付引当金	208,913	231,068
その他	140,800	140,800
<b>負債合計</b>	<b>4,928,209</b>	<b>4,039,302</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>40,678,125</b>	<b>38,952,283</b>
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	41,942,823	40,216,981
自己株式	△3,296,195	△3,296,195
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>481,471</b>	<b>△303,109</b>
その他有価証券評価差額金	215,557	153,852
為替換算調整勘定	265,914	△456,962
<b>新株予約権</b>	<b>45,976</b>	<b>28,369</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>179,107</b>	<b>152,779</b>
<b>純資産合計</b>	<b>41,384,681</b>	<b>38,830,322</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>46,312,891</b>	<b>42,869,624</b>

## Point

### 資産の部について

総資産は、前期末と比べて3,443百万円増加しました。  
その内、流動資産が1,817百万円、固定資産が1,626百万円増加しました。  
主な理由は、流動資産は「現金及び預金」が104百万円減少した一方、「受取手形及び売掛金」が743百万円増加したこと等によるものであります。  
固定資産は、「関係会社株式」が243百万円減少する一方、「投資有価証券」が1,703百万円増加したこと等によるものであります。

## Point

### 負債・純資産の部について

負債は、前期末と比べて888百万円増加しました。  
主な理由は、「その他」が593百万円、「買掛金」が229百万円増加したこと等によるものであります。  
純資産は、前期末と比べて2,554百万円増加しました。  
主な理由は、「利益剰余金」が1,725百万円、「為替換算調整勘定」が722百万円増加したこと等によるものであります。

# 連結決算の状況

## ● 第2四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高	12,578,104	11,946,484	22,583,136
売上原価	5,015,745	4,754,888	9,038,389
売上総利益	7,562,359	7,191,595	13,544,746
販売費及び一般管理費	3,828,562	3,341,451	6,883,286
営業利益	3,733,797	3,850,143	6,661,460
営業外収益	252,763	183,380	397,921
営業外費用	2,163	6,549	22,596
経常利益	3,984,396	4,026,975	7,036,785
特別利益	807	8,711	9,542
特別損失	421,106	4,134	27,050
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,564,097	4,031,552	7,019,277
法人税、住民税及び事業税	1,491,489	1,561,019	2,752,038
法人税等調整額	△267,502	386	△93,672
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	2,340,109	2,470,145	4,360,911
少数株主利益	25,221	19,894	20,315
四半期(当期)純利益	2,314,887	2,450,250	4,340,596

## ● 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,087,458	2,537,926	4,439,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,427,075	△1,569,159	△1,736,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△587,250	△654,838	△1,451,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	291,675	79,051	998,397
現金及び現金同等物の増減額	364,808	392,979	2,249,577
現金及び現金同等物の期首残高	10,439,658	8,190,080	8,190,080
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	10,804,467	8,583,060	10,439,658

## Point

### 損益計算書について

売上高は前年同期比5.3%増の12,578百万円となり、売上総利益は、前年同期と比べ、370百万円増加しました。  
販売管理費においては、人員の増加等により、前年同期と比べ、487百万円増加しました。  
これらの結果、営業利益は、前年同期と比べ、116百万円減少しました。  
また、子会社の操業停止決定に伴い、406百万円の特別損失を計上したこと等により、四半期純利益は、前年同期と比べ、135百万円減少しました。

## Point

### キャッシュ・フロー計算書について

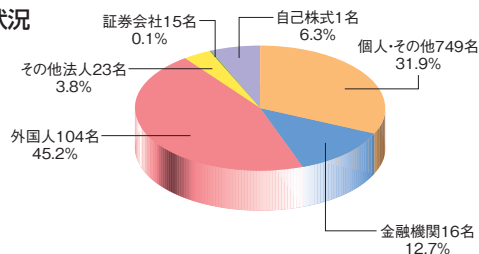
営業活動によるキャッシュ・フローは法人税等の支払いに資金を使用しました。  
投資活動によるキャッシュ・フローは主に投資有価証券の取得に資金を使用しました。  
財務活動によるキャッシュ・フローは主に配当金の支払いに使用しました。  
これらの結果、現金及び現金同等物の残高は前期末より364百万円増加しました。



## 株式の状況 (平成25年6月30日現在)

- 発行可能株式総数……………25,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 6,283,960株
- 株主数…………… 908名

### ●株式分布状況



### ●大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
中西英一	489千株	8.1%
ザチースマンハッタンバンクエスイロバン エスエルオムニバスアカウト	404千株	6.9%
中西賢介	395千株	6.7%
ジェービー モルガン チェース バンク 385174	345千株	5.9%
中西崇介	286千株	4.9%
中西千代	286千株	4.9%
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック ファンド	260千株	4.4%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	195千株	3.3%
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	180千株	3.1%
株式会社足利銀行	151千株	2.6%

(注) 1. 当社は、自己株式を393,494株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式(393,494株)を控除して計算しております。

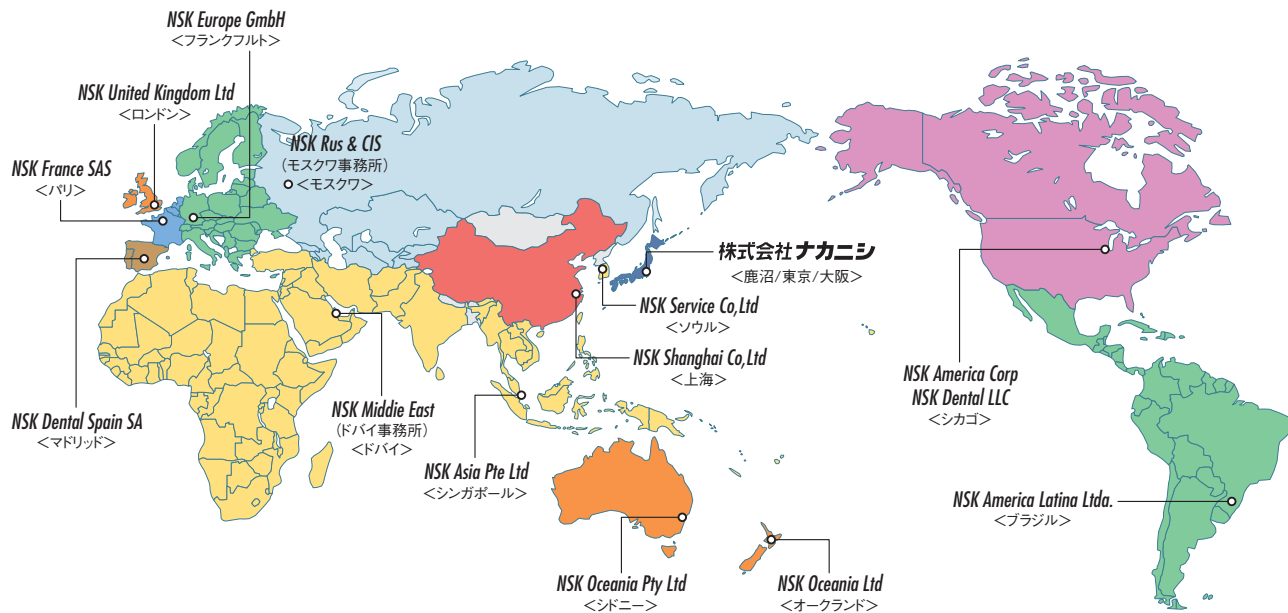
## 会社概要 (平成25年6月30日現在)

社名	株式会社 <b>ナカニシ</b> (NAKANISHI INC.)
設立	昭和26年2月
代表者	代表取締役社長 中西英一
資本金	867,948,542円
従業員数	743名(正社員567名)
本拠地	栃木県鹿沼市下日向700番地
事業所	本社・工場/東京事務所 大阪事務所 ドバイ事務所(UAE) モスクワ事務所(ロシア)
主要関係会社	NSK America Corp(アメリカ) NSK Europe GmbH(ドイツ) NSK France SAS(フランス) NSK Shanghai Co, Ltd(中国) NSK Oceania Pty Ltd(オーストラリア) NSK United Kingdom Ltd(イギリス) NSK Dental Spain SA(スペイン) NSK Asia Pte Ltd(シンガポール)

役員	代表取締役社長	中西英一
	代表取締役副社長	中西賢介
	常務取締役	押田 薫
	常勤監査役	豊玉英樹
	監査役(社外)	野長瀬 裕二
	監査役(社外)	染宮 守

主要取引銀行	足利銀行 みずほ銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行
--------	--------------------------------------

## 世界に広がるNSKのネットワーク



## ホームページのご案内

ホームページアドレス <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>



- 事業年度 1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月中
- 配当金受領株主確定日  
期末配当金 12月31日  
中間配当金 6月30日  
※中間配当の実施を取締役会で決議した場合
- 株主名簿管理人  
郵便物送付先  
電話照会先  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031（フリーダイヤル）  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
- 単元株式数 100株
- 株式取扱手数料 単元未満株式買取手数料……………無料
- 公告方法 電子公告 <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- お知らせ
  - ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
  - ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- ホームページアドレス <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>

Powerful Partners



Feel the difference

株式会社 **ナカニシ**

〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700番地  
TEL 0289(64)3380 FAX 0289(62)5636

このレポートは再生紙を使用しております。